

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年2月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690500048
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム てね
所在地	鹿児島県いちき串木野市上名5050番地1 (電話) 0996-33-2210
自己評価作成日	平成28年1月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年1月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・H27年4月より敷地内に児童発達支援センターと保育所が開設し、敷地内の畑と一緒に芋掘りやピクニックを合同で行い、子供達との交流を図っている。
- ・毎朝申し送り時に理念を復唱し、理念に沿ったケアが出来るように取り組んでいる。
- ・外部研修等で勉強したことを全体会議で発表し、情報共有を行っている。
- ・年4回のホーム便り(てね便り)発行し、地域の方や家族の方に配布を行っている。
- ・四季の行事を行ったり、年に1回、誕生日の月に本人と家族の要望を取り入れたわがままdayを実施したり、生活リハを取り入れながら生きがいを見い出し、今を楽しく生活できるように支援している。
- ・地域や家族、同法人内施設で協力してペットボトルキャップを収集し、ボランティア活動を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、同一敷地内にランドや保育所があり、子ども達の来訪や交流活動がある。協力医療機関である母体医療機関と24時間医療連携体制が整っており、緊急時の連携・協力を含め本人及び家族の医療面における安心に繋がっている。
- ・数多くの地域行事に利用者と職員が一緒に参加したり、ホームの炊き出し訓練に多数の住民参加及び準備等の協力も得られる等、地域との交流を積極的に行っている。
- ・外出支援に積極的に取り組んでおり、年間行事での外出以外に利用者一人ひとりの誕生日に個別の要望に応える「わがままデイ」を実施し、家族も一緒に楽しんでいる。
- ・職員は法人内外の研修も多く、資格取得に向けて学べる環境にある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各ユニットごとに理念を掲示し、毎朝、朝礼にて復唱を行ない、理念に沿ったケアの実施に心掛けている。	開設時に職員で検討して作った理念を事務室に掲示し、朝礼時にリーダーが中心になって唱和している。毎月の全体会議やフロア会議で振り返り、理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域の行事参加や施設内の行事参加の呼びかけなど行っている。また、ペットボトルキャップ収集にも協力をもらっている。	自治会に加入し地域行事の運動会や十五夜・6月燈を見物したり、ホームの敬老会やクリスマス会・餅つきなどに地域住民へ声かけし協力を得ている。ペットボトルのキャップ収集の協力や旬の野菜やあくまきなどの差し入れもあり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	自治会の回覧板に年4回「てね便り」を提供し、施設の取り組みや介護の豆知識などの情報を発信している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で取り組み状況の報告や相談、施設行事などの参加の促しなど話し合い、意見を参考にサービスの向上に努めている。</p>	<p>会議は定期的開催し、ホームから行事の報告や利用者の状況等を説明し、参加者からは地域行事やホームの運営・参加等についての意見交換が活発に行われて出された意見をサービスの向上に大いに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市役所の担当者に疑問に思うことがある場合は、電話で確認したり直接、相談をしている。また、市役所からのアンケートなどに対しても迅速に対応している。</p>	<p>市の担当者及び生活保護担当者と電話や出向いて相談をしたり助言を受ける等、日頃から連携し協力体制を築いている。毎月、介護相談員を受け入れている。地域包括支援センター主催の徘徊訓練にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>年1回の法人内研修や全体会議を利用して身体拘束の理解を深めている。また、玄関の施錠も含めて、身体拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>年1回の法人全体の研修や年3回の内部研修等で、身体拘束の具体的な行為について理解し、特に言葉遣いに気をつけてケアの実践に努めている。日中、玄関の施錠はしていない。離設傾向のある利用者に対しては話しかけたり一緒に散歩したり、ドライブに行く等、状況に応じて個別に対応し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>全体会議を活用して虐待の理解を深め、虐待防止の意識向上に努めている。不適切と思われる言動に対しても職員間で注意できるように心掛けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度などの外部研修に参加して知識を深め、利用者の必要性に応じて情報提供を行なえるよう支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約や改定時は、利用者や家族に不安や疑問点などないか確認しながら説明を行ない、理解・納得に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者個々の意見や要望を聞き、他職員や家族などに相談して改善に努めている。家族には面会時や担当者会議等に意見や要望を確認し、反映できるように取り組んでいる。</p>	<p>利用者からは日々の暮らしの中で思いを聴いている。家族からは面会時や家族会等で要望等を聞いている。家族から出された受診の送迎についての要望で、緊急時は職員の同行、定期受診は状況に合わせて対応する等、要望に沿えるよう取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝の朝礼や月に1回の全体会議を実施し、意見交換できる場を設けている。また、個人面談でも意見を聴き、業務に反映している。	管理者は毎月の全体会議及びフロア会議で職員の意見等を聞く機会を設けている。個人面談を実施するなど、個別相談は、日常的に管理者が気軽に受けている。職員の意見で廃品回収に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人一人の勤務状況を把握し、家庭環境や体調面等に考慮した勤務体制に努めている。また、職員の慰労を兼ねた親睦会も行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修参加や法人内研修を受ける機会を設け、プロフェッショナルな介護職員としてスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加盟しており、同地域のグループホームや支部のグループホーム、介護事業者との勉強会や情報交換に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始時には、こまめにコミュニケーションを図り、利用者の思いや考えを早めに把握して、信頼関係を築き、安心して過ごして頂けるよう努める。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用前、十分に説明を行ない利用後も話し合いの場を設け、家族の心理、意向等に耳を傾けている。面会時には利用者の様子を細かく伝えるよう心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族、職員間で十分話し合いを行い、本人、家族の考えを尊重しながらより良い方法を見出していくように努める。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	どこが出来て、どこが出来ないかを把握し、工夫すればできると思われる力を引き出せるように促し、出来ないところはサポートしながら生活意欲を高めてもらえるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人の思いに共感しながら家族の悩みや意向を傾聴し、共に支えていく関係を築くように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係性が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>わがままDAYを誕生日の月に計画し、行きたい場所や、やりたい事を取り入れて実施している。また、地域の祭りや自治会の行事等に参加し、地域との関係性が途切れないよう、支援に取り組んでいる。</p>	<p>友人や地域住民の面会が多く、ゆっくり居室でお茶を飲んでもらっている。馴染みの理美容室には家族または職員同伴で行っている。家族の冠婚葬祭への出席支援や地域行事への参加・家族や友人と外食など、地域や馴染みの人や場との関係性が途切れないよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーションを通じて、利用者同士のコミュニケーションを図れるように努めている。また、ホール内でも利用者同士が話せるように席の誘導を行ったり、職員が間に入りフォローに努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>長期入院などの場合は職員がお見舞いに伺っている。また、亡くなられた時は、通夜や葬儀への参列を実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各利用者に居室担当の職員を決め、利用者自身の希望や意向を把握し、利用者主体のケアに努めている。困難な場合は、申し送りやフロア会議で検討している。	居室担当制を決め、ふとしたときの何気ない言葉や行動・仕草・表情等を申し送りノートに記録し、職員で共有して意向の把握に努めている。困難な場合は家族に相談し、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員は利用者のフェイスシートを読んだり、利用者とは話したり、家族の情報やサービスの経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々にあった1日のリズムで過ごして頂けるように、出来る事、出来ない事を見極めながら支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医の意見や本人、家族の面会時や担当者会議で意見を汲み取り、フロア会議で話し合いケアプラン作成に反映している。	本人や家族の意向に沿って担当者会議を実施し、主治医の意見及びフロア会議の職員の意見も参考にして介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に計画を見直している。状況の変化で随時、見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に生活・介護記録を記入しており、特に大きな変化があった利用者については、申し送りやフロア会議等で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の急変時に対しては、かかりつけ医などに受診している。リハビリやレクリエーション等は法人内の関係施設と連携し、柔軟な支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加し、施設の行事も含め楽しみながら暮らし喜べる様、支援している。また、地域の資源ゴミ回収に参加したりペットボトルキャップ回収の協力を依頼している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は本人および家族の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と連携をとりながら適切な医療を受けられるように支援している。	本人及び家族の希望するかかりつけ医に、家族の協力も得ながら受診支援している。母体医療機関と24時間医療連携体制を築いており、ホームからの報告を受けて、状況に応じ医師・看護師の来訪があり、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の異常・特変時バイタル測定の結果等相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>			
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された時は、今までの生活状態をサマリーにて提出し、その後も病院に出向き、情報交換や状態把握の確認をし、利用者の情報共有に努めている。</p>			
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時から重度化した場合や利用者の状態に応じて段階的に家族と話し合いを行ない、施設で出来る範囲を説明し、本人や家族の希望に添える支援が出来る様、取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化や看取りについてのホームの方針を説明している。状況の変化に応じて家族と話し合いを重ね、意向を確認しながら支援に取り組んでいる。母体医療機関の医師及び看護師の協力を得て対応し、職員の看取り介護研修も実施している。看取りの希望は主治医や家族と話し合いを行い、施設でできることを説明し、本人や家族の希望に添えるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変時や事故発生に備えて施設内で定期的に勉強会を行ない、実践力を身に付けるよう学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練を実施している。内1回の避難訓練と炊き出し訓練に地域の方や家族の方々に協力を得ている。また、緊急連絡網に自治会の方を登録させてもらい、緊急時には地区の防災無線で放送してもらえる協力体制を築いている。</p>	<p>年2回避難訓練のうち1回は、運営推進会議と同日に消防署立会いのもと昼夜間想定で実施し、心肺蘇生とAEDの訓練を行っている。地域住民は外で待機し移動や見守りなど担当してもらう計画である。地域には防災無線もある。非常時はカセットコンロや水・鯖缶・カップ麺・牛丼などの備蓄がある。スプリンクラーも設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の利用者に応じた声掛けや人格を傷つけないよう常に言葉使いに気をつけて対応し、気持ち良く過ごしてもらえるよう、心掛けている。	外部の接遇研修及び内部研修を実施し、さん付けでの呼びかけや排泄介助時のさり気ない声かけ・入室時のノック等、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の話には耳を傾け、利用者が素直に自己決定できるように促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、睡眠、入浴など利用者一人ひとりの意見を大切にし、無理をせず、利用者の希望にそえるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髪型や服装を利用者である程度決めていただく。その季節に応じた物とか似合う物を一緒に選ぶ事もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の中に利用者の希望される物を取り入れ、また、作り方などを教えていただき、昔の話も聞かせてもらう。片付けなども職員と一緒にこなしている。	献立は利用者の希望を聞きながら作成している。それぞれの力量に応じて、味見や食後のお盆ふきなど、職員と一緒にやっている。代替品や食事形態も個別に対応している。菜園の旬の野菜を採ってきたり行事食・アルコール少々・外食等を取り入れ楽しみの工夫を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事とおやつで栄養バランスと水分摂取を考えている。一人ひとりの状態に応じて刻みやお茶ゼリーなど、おいしく摂っていただけるように工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者個々にあった声掛けや対応で口腔ケアの支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者個々の排泄パターン、特徴を捉え、声掛けや誘導をしている。できるだけトイレでの排泄を促し、利用者にも排泄の習慣で自立の喜びを味わっていたりできるよう支援している。	昼夜共、布パンツやリハビリパンツ等を利用者の状況や意向に合わせて使用し、個々の排泄パターンに合わせた声かけやトイレ誘導で、トイレでの排泄を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立の中に繊維分の多い物を取り入れ、便秘予防に取り組んでいる。毎日少しでも体を動かしていただけるよう声掛けしている。水分も大事なため、それぞれに応じた水分量も記録して予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの入浴パターンもあるので希望を取り入れ、出来るだけ要望にそえるよう支援している。入浴を拒否される方には職員の連携で声掛けを工夫し入浴のチャンスを見極めている。	入浴は週3回が基本で午前中に行っている。利用者の状況で随時、時間調整し入浴を支援している。希望に応じて同性介助をしている。拒否される場合は、時間をずらしたり、翌日にするなど無理強いはしていない。シャワー浴や足浴・清拭をすることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安易に薬を用いず、利用者の状態に応じて、安心して休息をしていただいている。夜間帯もそれぞれの時間に居室に戻り、休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を保管している。個々の薬の内容を把握し、薬の変更がないか説明書にて確認している。服薬前には、名前、日付等の確認を行い誤薬防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で、洗濯物たたみやお茶碗洗いにお菓子作りなど個々の役割を見つけ手伝っている。また、レクリエーション等行い、気分転換等の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の希望に応じて散歩やドライブ等の支援をしている。また、施設の行事（花見、夏まつりなど）地域の行事（運動会、文化祭など）にも参加していただけよう取り組んでいる。	日常的には広い敷地内や近隣での散歩をしている。年間計画で地域行事の運動会や夏祭り・十五夜見物等に出かけている。法人主催の春秋の運動会、関連施設の託児所や発達支援センターの子供たちとの芋ほりやピクニックなどに出かけている。地域の行事や家族との外出もあり、できるだけ出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の希望に応じて使用できるように金銭管理を行っている。また月に数回、移動販売を利用し、買物をしていただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者が電話を希望された場合は、職員が家族へ電話を行い会話ができればよう支援している。また、手紙が届いた場合には本人へ手渡し、読めるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールでは利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音・温度など）に配慮し、花や飾付けで季節感を感じてもらい、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ホールは明るくて広く窓から景色が見れる。加湿器が置かれ空調管理が整っている。キッチンと事務所が対面する作りで両サイドから見守りができる。壁には外出時や季節の行事の写真が飾られている。日当たりの良い場所に置かれたソファでゆっくり日なたぼっこをする利用者もある等、思い思いに過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにテーブル席やソファなどあり、日向ぼっこやテレビを見たり、音楽鑑賞されたり、利用者思い思いの場所で過ごしていただけるよう支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族の希望を伺い、使い慣れた物を持って来てもらい、居心地よく過ごしていただけるよう支援している。	居室は電動ベットや洋服掛けラックが設置されている。家族の希望でベットの昇降に安全な介助バーが設置されている。祝いの賞状や思い出の写真・仏壇や位牌の持ち込みもあり、本人や家族の想いが感じられる。掃き出し窓になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの個性や身体の状態に合わせ、生活リハビリ等取り入れ意欲的に自立した生活が出来るように支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない